



加賀市長からのメッセージ 第033号 6月10日配信

昨日加賀市は、法政大学理工学部、石川県立加賀高等学校と包括連携協定を締結いたしました。不足する理系人材の育成、ひいては将来的な地元企業への人材確保、そして地域活性化への連携を深めるための重要な取り組みとなります。

本市は昨年夏より、法政大学理工学部が実施する「理系コンソーシアム」に参画し、多様な視点と柔軟な発想力を持つ人材の育成支援に努めてまいりました。さらに、昨年11月には同大学と包括連携協定を締結し、人的資源の交流や、産業・観光振興に関する協業、マーケティングなど多岐にわたる分野での連携を強化しています。

加賀高等学校とは、これまでもロボレーブなど高校の魅力向上を目的とした協力関係を築いてきました。同校は地域にとってかけがえのない学校の一つです。こうした背景のもと、法政大学理工学部との教育分野における交流・連携の機会を拡充し、生徒の皆さんへ法政大学理工学部からの出前授業など、いつでも多くの学びの機会やキャリアの選択肢を増やすことを目指して、今回の三者協定締結に至った次第です。

協定式には、加賀高等学校の卒業生や同窓生、関係者の皆様にもご臨席いただき、本協定への期待の高さが伺えました。

「母校」というのはとても大切なものです。その母校が地域に愛され、長く存続するものとして、その支援を行うことは地域への愛着、すなわちシビックプライドの醸成に深く寄与するものと認識しております。加賀市として、このシビックプライドの醸成に対し今後も積極的に取り組んでまいります。

本協定はあくまで新たな出発点ではありますが、まずは、これまでの関係者の皆様のご尽力に対し、心より感謝申し上げます。

(令和7年6月10日号)

加賀市長 宮元 陸